

十二の重要な事柄を見て、経験し、適用することによって、
キリストのからだの一を顧みる

聖書：ヨハネ 17:11, 17, 21-23. エペソ 4:3-6

I. 主の回復は、キリストのからだの一の回復です——エペソ 4:3-4：

- A. 主の回復は、キリストがただ一つのからだを持っているという真理に基づいています——I コリント 12:12-13, 20. エペソ 1:23. 4:4, 16。
- B. 主はキリストのからだとキリストのからだの一を回復することを願っています——3 節. ヨハネ 17:11, 21-22。
- C. キリストのからだの一は、その霊の一です。ですから、わたしたちはその霊の一を保つことを熱心に努める必要があります——エペソ 4:3：
 - 1. わたしたちはその霊の一を保つために、十字架によって対処される必要があります——ローマ 6:6. マタイ 16:24。
 - 2. その霊の一を保とうとするなら、わたしたちの肉、自己、「わたし」は、キリストの十字架によって断ち切られなければなりません——ガラテヤ 2:20. 5:24。

II. 唯一無二の宇宙的なキリストのからだは、諸地方召会として表現されます——エペソ 4:4. 啓 1:4, 11：

- A. 地方召会は、ある地方におけるキリストのからだの表現です——マタイ 16:18. 18:17. I コリント 1:2. 10:32 後半. 12:12-13, 20, 27。
- B. 一つの宇宙召会、すなわちキリストのからだは、多くの地方召会、すなわちキリストのからだの地方での表現となります——ローマ 12:4-5. 16:16 後半。
- C. あらゆる地方召会は、唯一の宇宙的なキリストのからだの一部であり、このからだの地方での表現です——I コリント 1:2. 12:27。

III. 召会の立場は三つの重要な要素で構成されています：

- A. 召会の立場の第一の要素は、宇宙的なキリストのからだの唯一の一、すなわち「その霊の一」です——エペソ 4:3-4。
- B. 召会の立場の第二の要素は、地方召会がその中で設立され存在する地方の唯一の立場です——使徒 14:23. テトス 1:5. 啓 1:11。
- C. 召会の立場の第三の要素は、一の霊の実際であり、宇宙的なキリストのからだの唯一の一を、地方の唯一の立場の上で地方召会として表現します——I ヨハネ 5:6. ヨハネ 16:13：
 - 1. 実際の霊、すなわち神聖な三一の生ける実際によって、キリストのからだの一は真の生けるものとなります。
 - 2. この霊を通して、召会の立場は律法においてではなく、命において適用されます。

IV. 一の立場とは、わたしたちの存在に適用される、手順を経て究極的に完成された三一の神です——17:21-22. II コリント 13:14. エペソ 3:14-17 前半. 4:4-6：

- A. キリストのからだの一は、実は三一の、有機的な、生ける神ご自身です——1:3-14, 22-23. 3:14-17 前半. 4:4-6：
 - 1. エペソ第4章4節から6節は、四つのパーソン（一つからだ、一つ霊、一つ主、

一つ神また父)が、共にミングリングされて一つの実体となり、キリストの有機的なからだとなることを啓示しています。

2. 召会は、三一の神が彼の贖われた民とミングリングされて、金の燭台となり、神を表現するものです——啓 1:20。

B. わたしたちは一の中にもたらされました。この一は、手順を経て究極的に完成された三一の神を、わたしたちの存在に適用することによって生み出されました——ヨハネ 17:21-22. II コリント 13:14。

C. 主の回復における召会の一は、三一の神をわたしたちの内なる存在に適用することを含みます——エペソ 3:14-17 前半。

V. 一の本質は命と光です——ヨハネ 8:12. 10:10. 11:25 :

A. 一は命の中にあり、光を伴い、正当な立場の上にあります——詩 36:8-9。

B. 御父の御名は命の事柄であり、御父の真理は光の事柄です——ヨハネ 17:11, 17 :

1. 命がなければ、一はあり得ません (エゼキエル 37:1-14)。一が保持され得る唯一の道は、命によって、命の中で、命をもってです——創 2:9. 啓 22:1-2。

2. 不和と分裂は、命以外のものをわたしたちの中に取り入れた結果です——創 3:1-6. 11:1-9。

3. 光は一を保持し、無秩序を排除します——啓 21:23。

C. 光、命、一は並行し、一つの循環となります。光が多いほど、命は多くなり、命が多いほど、一は多くなり、一が多いほど、光は多くなります。

D. 主の回復におけるすべての召会は、命の中にあり、光の照らしの下になければなりません (I ヨハネ 1:1-5)。光の照らしによって、また命の注ぎと供給によって、わたしたちは一です——啓 21:23. 22:1-2。

VI. 真の地方召会の六つのテストがあります—— 1:4, 11 :

A. 真の地方召会には特定の名称はありません—— 3:8。

B. 真の地方召会には特別な教えや実行はありません——使徒 2:42。

C. 真の地方召会には特別な交わりはありません—— I コリント 1:9。

D. 真の地方召会には分離された行政はありません。

E. 真の地方召会には他の組織との隠れた関係はありません。

F. 真の地方召会は進んですべての地方召会と交わりを持ちます—— 10:16-17. 16:19。

I テサロニケ 2:14. 啓 1:4. 2:7 前半。

VII. 神の民の一を破壊することが旧約に描写されています :

A. ヨシュア第 22 章 10 節から 34 節は、神の民の状態が今日どうであっても、わたしたちは神を礼拝し、神と交わるための別の祭壇を立ててはならないことを見せています。

B. 高き所の意義は分裂であり、何かを高く上げることを含んでいます——列王上 11:6-8. 13:33-34. 14:22-24. 15:14, 34. 22:43 :

1. 原則的に、あらゆる「高き所」、あらゆる分裂は、キリスト以外のものを引き上げることを、高く上げることを含んでいます—— I コリント 1:10-13。

2. 召会生活の中で、わたしたちは何の「高き所」も持つべきではありません。むしろ、わたしたちはみな一つの地位にいて、キリストを高く上げるべきです——コ

ロサイ 1:18. 3:10-11。

- C. ヤラバアムの背教は神の定めを破壊しました。それは一つの唯一の礼拝センターを聖地に持ち、イスラエルの子たちの一を保つということです——列王上 12:25-33。

VIII. 真理がわたしたちを聖別するのは一のためです——ヨハネ 17:17：

- A. 真理は聖別し、聖別は一を生み出します—— 21-22 節。
B. 聖別されるとは、自分自身から出て来て三一の神の中に入り、キリストにわたしたちの中で生きていただくことです—— 11, 14-17, 21-26 節。
C. 分裂の四つの要因（この世、野心、自己を高く上げること、意見と観念）は、ただ聖別する真理によってのみ対処されることができます—— 17 節。

IX. 真の一は「あの悪しき者」に相對します—— 15-17, 21-23 節：

- A. この世はサタンの系統であり、サタンはあの悪しき者としてその中にあります。サタンとこの世は一つの実体です—— 14-16 節。
B. あの悪しき者（15 節）は、この世とその野心、自己を高く上げること、意見と観念であり、このすべては分裂を生み出します。
C. 三一の神の中に野心はなく、御父の栄光の中に自己を高く上げることはなく、キリストが生きて支配する場所に意見と観念はありません—— 21-23 節。

X. からだの一を保つことに加えて、わたしたちはからだの中の良い取り決めに維持する必要があります—— I コリント 12:18. II コリント 10:13：

- A. 神はからだの中で明確な案配をし、取り決めにしました—— I コリント 12:28：
1. わたしたちは、からだの取り決めに知らなければなりません。それは、神がからだの中で定めた順序です。
2. あらゆる肢体は取り決めの中にあり、秩序正しく歩かなければなりません—— 11:34 後半. 14:33, 40. コロサイ 2:5。
B. からだの中の取り決めは、成長と務めのために極めて重要です。不法はからだの発展を不可能にします——エペソ 4:16. I ヨハネ 3:4。
C. わたしたちは自分の度量によって制限されなければなりません。自分の度量を越えるとき、からだの取り決めに干渉することになります—— II コリント 10:13。
D. わたしたちは互いに服従することによって、からだの中の良い取り決めに維持する必要があります。こうして同じ心・思いを保ちます——エペソ 5:21. 使徒 1:14. 2:46. ローマ 15:6。

XI. 主の回復にはただ一つの働き、すなわち一つからだの働きだけがあるべきです——エペソ 4:12. I コリント 15:58. 16:10：

- A. わたしたちはみなからだを見て、からだの働きを行なわなければなりません——エペソ 1:22-23. 4:12。
B. すべての同労者はキリストのからだのために、宇宙的に同じ一つの働きを行なうべきです——ローマ 12:4-5. I コリント 12:12-13, 24-27. エペソ 4:12。
C. 働きの区域は召会を分裂させるべきではありません——ガラテヤ 2:7-8。
D. 「神の子供たちがからだの一を見るときはいつも、働きの一も見ます。そして個人の働きから離れて、からだの働きを見ます」——ウオッチマン・ニー全集、第 37 巻、第 36 編。

XII. 宇宙的なキリストのからだの一を保つために、わたしたちは共にブレンディングされる必要があります—— I コリント 12:24 :

- A. 「ブレンディングされる」という言葉は、調整され、調和され、調節され、ミングリングされることを意味し、区別を失うことを暗示します。
- B. ブレンディングは、わたしたちが取り除かれ、からだのために、その霊によってキリストを分与することを要求します——マタイ 16:24. ローマ 8:4. ガラテヤ 5:16, 24-25. エペソ 3:8. 4:12, 16。
- C. わたしたちはからだのすべての肢体のブレンディング、ある地域のすべての召会のブレンディング、すべての同労者のブレンディング、すべての長老のブレンディングを持つべきです。
- D. このブレンディングは宇宙的なキリストのからだを建造し、神の大いなる喜びにしたがって、神のエコノミーの最終目標である新エルサレムを究極的に完成するためです—— 1:9-10, 23. 3:8-10. 啓 21:2。